学校番号	３２２

令和８年度　数学科

教科	数学	科目	基礎数学	単位数	３単位	年次	３年次 （普通科文系選択）
使用教科書	なし						
副教材等	「公務員試験　数的推理がわかる！新・解法の玉手箱」　（実務教育出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業では、問題集を用いて基本事項の解説および問題演習を行います。
・授業中は、自ら考えるとともに、周りの人と協働して考えることを積極的に行ってください。
・問題演習に取り組む中で、自分の考えを発表することや、周りの人と議論をする時間を作っていきます。
・わからない内容は決してそのままにせず、その場もしくはその日の内に質問し、理解して終える習慣を身に付けていきましょう。
・定期考査時や長期休暇時は問題集を課題として与え、そのノートを提出してもらいます。ただ問題を解くだけでなく、途中式や計算過程、大事なポイントを書くことにも取り組んでください。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】整数の性質についての知識を深める。また数量関係を等式や不等式で表現する技能身に付ける。
【思考力、判断力、表現力等】比例の関係から数量の関係について考察を行い、特定の数量変化に着目し、立式し表現する。
【学びに向かう力、人間性等】数量関係について幅広く考察し、周りとも意見交換を行う。自身の思考の過程と他の人のそれを比較し、それぞれの良さを見つけ、有益な部分を主体的に蓄積していく。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・数量関係を理解し、表現できる技能がある。 ・基本的な計算を間違えることなくできる。 ・公理や公式を正しく理解し、使うことができる。	・文章で表現された数量関係を理解し、等式や不等式を表現できる。 ・複雑な計算を間違えることなくできる。 ・学んだ知識を活かし、他の場面で使うことができる。	・自ら意見を持って主張する。 ・人の意見や考えを正しく聞きくことができる。 ・複雑な事象に対峙しても、根気よく対応することができる。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	等式と不等式	・方程式 ・不等式 ・整数	a:文章や数式から、数量関係を正しく理解し表現ができる。簡単な場合の方程式、不等式を解くことができる。 b:文章題について理解し、解法を導くことができる。 c:主体的に授業に参加し、自分の考えを話し、他の人の考えを理解しようとする。	定期考査 確認テスト	定期考査 問題集	振り返りシート 発表
	整数	・合同式 ・魔法陣 ・覆面算 ・n進法と10進法	a:文章や数式から、数量関係を正しく理解し表現ができる。 b:問題設定について理解し、解法を導くことができる。 c:主体的に授業に参加し、自分の考えを話し、他の人の考えを理解しようとする。	定期考査 確認テスト	定期考査 問題集	振り返りシート 発表

2学期	比例と割合	・比と割合 ・原価・定価・利益 ・濃度 ・仕事算 ・速さ時間距離 ・座標平面と1次関数	a:文章や数式から、数量関係を正しく理解し表現ができる。 b:条件や問題の設定について理解し、解法を導くことができる。 c:主体的に授業に参加し、自分の考えを話し、他の人の考えを理解しようとする。	定期考査 確認テスト	定期考査 問題集	 振り返りシート 発表
	図形	・平面図形 ・三平方の定理 ・円の性質 ・空間図形	a:文章や数式から、数量関係を正しく理解し表現ができる。 b:図形の性質を理解し、数式で表現し、解法を導くことができる。 c:主体的に授業に参加し、自分の考えを話し、他の人の考えを理解しようとする。	定期考査 確認テスト	定期考査 問題集	 振り返りシート 発表
3学期	場合の数	・場合の数 ・順列と組み合わせ ・二項定理 ・確率の積と和 ・独立・排反事象	a:文章や数式から、数量関係を正しく理解し表現ができる。 b:図形の性質を理解し、数式で表現し、解法を導くことができる。 c:主体的に授業に参加し、自分の考えを話したり、他の人の考えを理解しようとする。	定期考査 確認テスト	定期考査 問題集	 振り返りシート 発表

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度